



井田 孝 議員



二中通学路の安全対策を

問 8月10日に通学路の合同点検が終わったということだが、それ以降に修繕などの工事を行った箇所はあるか。

答 合同点検185か所のうち対策が必要な箇所は94か所。そのうち10月末で対策済が29か所。現在着手中が7か所。未着手の58か所のうち34か所は今年度中に完了の予定。

問 第二中学校の通学路において、帰宅時の混乱を避ける工夫はできないか。

答 生徒が登下校する校門を学場所を指定するなど、下校指導を行うとともに、保護者に対しては送迎車を一方通行にするなど、年間を通して様々な対応をしている。

問 雨の日に迎えに来る保護者の車は、東側のフェンス沿いに縦列して待っており、縦列に入れない車は二中の周りを周回している。旧環境課の跡地が駐車場

となっているが、送迎のために開放することはできないか。

答 公用車と職員の駐車場として使用する予定だが、今後担当課と協議して検討する。

空き家バンク制度導入を

問 現行の空き家条例は、放置されている空き家の倒壊を防ぐための条例だが、他市町村のように空き家バンクとして、ほかの地域からの移住者を迎え入れる政策は考えているか。

答 旭市空家等対策協議会において、空き家バンク制度を重要な施策として協議してもらおう。

問 東京オリンピックのサーフィン会場となった一宮町では移住者が増えていると聞く。本市でもサーフィン大会が開かれ、温暖な気候で豊富な食材に恵まれており、米本市長は以前から旭市は潜在能力が高いと言っているが、空き家バンクに対しての見解は。

答 空き家バンク制度は、市外の人に対して本市の魅力アピールできる機会と捉えている。重要な施策として位置付け、空き家を有効活用して移住者を増やせるよう取り組んでいく。

問 その他の質問事項
○新型コロナウイルス感染症対策について

洋上風力発電の部品工場誘致を

問 政府が洋上風力発電の拡大を目指す方針を掲げたことを追い風に、銚子市沖やいすみ市沖では検討が進められているが、旭市沖はどうなっているのか。

答 本市においても、既に促進区域に指定されている銚子市沖や有望な区域として選定されているいすみ市沖での動きを踏まえながら、地元関係者と連携し、検討する。

問 洋上風力発電1基造るのに約1万5千個の部品が必要と聞くが、旭市に工場を誘致できれば大変な経済効果を見込めると思うが、部品工場を誘致できないか。

答 洋上風力発電は、発電設備の部品点数が非常に多いことから、建設となった場合、関連企業の誘致や地元企業の活用などが期待されるので、今後の進捗状況を見ながら研究していく。



銚子沖に設置している洋上風力発電の実証機

ワクチンパスポートについて

問 ワクチンパスポートの発行状況は。

答 ワクチンパスポート「予防接種証明書」は、海外渡航予定のある方に、渡航先への入国時や、帰国後の待機期間に関する防疫措置の緩和を受ける際に活用できるよう発行される証明書であり、発行実績は11月現在で151件。

問 電子申請・交付について、今後の計画は。

答 国では接種証明書のデジタル化について、年内をめどに実現できるよう検討している。

問 その他の質問事項
○産業、経済発展に向けた取組
○通学路について

QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。